

## 阿賀野市小学校教育研究会社会科部の取組

### 1 研究テーマ

「地域素材を生かし、学力向上を目指した社会科の授業づくり」

### 2 事業の内容

4月21日（木）第1回部会 組織の構成・役割・事業計画の作成

6月 8日（水）第2回部会 地域巡検

「ヤスダヨーグルト」工場見学及び会社と製品の説明

11月29日（火）第3回部会 講演

「阿賀野市の歴史」中世～近代

### 3 事業の実際

#### (1) ヤスダヨーグルト工場の見学

阿賀野市の安田地区は新潟県酪農発祥の地とされており、地域の原材料を生かした製品である「ヤスダヨーグルト」は、学校給食の献立にも登場し、子どもたちにも人気がある。そこで、実際に見学して、地域素材としてどのように活用できるかを探ることにした。

訪問当日は、工場の内部の様子や生産過程について説明を受けた後、ヤスダヨーグルトが誕生するまでの経緯や製品開発及び製品作りに対する会社としての思いやこだわりについて聞くことができた。

効率や利益を優先させるのではなく、時間が掛かっても「安全で良い製品」を作り続けようとする思いは、地域素材として十分活用できることが分かった。

#### (2) 阿賀野市の歴史について

阿賀野市教育委員会生涯学習課の遠藤慎之介様を講師に招いて、「阿賀野市の歴史」について講演をしていただいた。

阿賀野市在住の教員であっても、市の歴史について詳しい人は少ない。そこで、中世から近代にかけて、阿賀野市全体の変遷について学ぶ機会とすることにした。

講演では、歴史を学ぶ上で大切なことから始まって、3万年前の発掘品や中世以降の統治者及び代官所があったわけ、また、大地主の存在と農業生産の様子、越後府の存在等について学ぶことができた。

小学校の歴史学習は、常に地域と関連させて学習を進めていくことが重要であり、今後の指導に生かすことができる内容であった。

### 4 今後の取組について

今年度の研修を通して、阿賀野市には隠れた地域素材がまだまだあることが分かった。

社会科を研修する教員として、もっと阿賀野市全体に興味・関心をもち、自ら教材化していく取組を進めたい。また、それらの取組を市内各校に紹介出来るように、情報交換を積極的に行いたい。

(文責 保田小 北澤 実)